

通常点検と地震後の設備健全性確認点検の違い

「地震後の設備健全性確認点検」は、「通常点検」に比べて対象となる機器が多く、かつ多くの機器の点検を並行して進めるという特徴がある。

[通常点検]

[地震後の設備健全性確認点検]

1点検計画 ・記録様式 ・不適合管理 ルール等	■ 繰り返し型の点検のため、記録様式やルールは、標準化	■ 非定常型の点検のため、記録様式やルールは、新たに検討
2点検実施, 記録作成	■ 点検周期で定められた機器を対象に、個別の機器毎に点検し、記録を確認	■ 全機器を対象に、多数の機器を並行して点検し、類似の機器毎にまとめて記録を確認
《参考》点検の流れ	点検 機器A 分解 組立 漏えい確認 性能確認 点検記録(標準様式) 確認 点検記録(標準様式) 確認 点検記録(標準様式) 確認 点検報告書 承認	点検 機器A 目視点検 機器B 目視点検 機器C 目視点検 ... 漏えい確認 漏えい確認 漏えい確認 ... 性能確認 性能確認 性能確認 ... 記録 点検記録(新様式) 確認 点検記録(新様式) 確認 点検記録(新様式) 確認 点検報告書 承認